

令和6年度 第1回 浜松市立泉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月7日（火） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立泉小学校 家庭科室
- 3 出席委員 鈴木 章弘、石塚 猛裕、岩崎 まさの、新村 友得、石澤 光也、袴田 大介、和田 円
- 4 オブザーバー 河西 博昭（高台協働センター）、鈴木 皓介（高台協働センター）、黒田 裕美子（CS担当）、中川 もも子（CS担当）
- 5 学 校 校長、教頭、主幹、CSディレクター
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）

7 協議事項

○会長の選出及び副会長の指名について

- （1）学校運営の基本方針の説明と承認
- （2）学校運営に必要な支援について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

- 8 会議録作成者 CSディレクター

9 会議記録

司会から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

昨年と同じ規模で今年度も始まった。今日から一年生も5時間授業も始まった。学校だけでは限度があるので地域の皆に協力していただきたく思う。（校長）

○会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員について鈴木さんに依頼した。

全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された鈴木委員から、石塚委員を副会長に指名する旨の報告があった。

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、新村委員から石塚副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（1）学校運営の基本方針の説明と承認

校長より説明があった。（資料参照）

いろいろな学校もある。学校教育目標を一人一人が輝く楽しい学校に変えた。言葉とおり、子供たちに達成感を感じさせてあげたい、小さな輝きが660集まれば大きな輝きになると思い、決

定した。

自主性と主体性の違い。自分で考えてより前に進んでいこう。進ませていければよいと思っている。

学校だけでは少し難しいので、教員のスキルも上げなければいけないと感じるとともに、地域と一体になって親身になって健やかに子供を育てたいと思っている。

学校活動、学校行事等が子供たちの意力が発揮できる場所なので伸ばしてしていきたいと思う。

いじめについて、昨年度は認知220件になった。一日に1から2件ということになる。

受け手側が嫌な思いをしたらいじめと認知する。聞き取りをして解消をしていかなければいけない。一人で聞くのではなく二人以上で聞く。定期的に生活アンケートを実地している。アンケートに書いてないから安心ではなく、周りの情報を収集していきたいと思っている。

学校は小さな社会ともいわれている。自分で折り合いを付ける力も必要だと思い、苦しくなったら自分で逃げ道を探す。自分の生き方を探せるようになってほしいと思う。

集団登校について、来年度について個別自立登校に向かっていきたいと思っている。集団登校のメリットもあるが、デメリットもある。班によっては4年生が班長になっているところがあり、荷が重いのではないかと考えている。6月から少しずつ試しにやってみようと思っている。その後、保護者にアンケートを実地し、地域の皆さんにも発信できるのではないかと考えている。個別登校にするかは別としてあいさつ運動とうまく兼ね合わせればと思っている。

グランドデザインを見ていただいて新しいメンバーの方もいるので意見をいただけたらと思う。(校長)

子供の見回り制度に応募し、タスキ等をいただきました。自治会でも進めていて、応募者も増えてきている。個別登校についても状況が分からないので具体的に教えていただきたい。実際の時間帯がどのように変化するのか分からないので、心配なこともある。(鈴木会長)

グランドデザインについては、PTA活動についても一致すると思っており、楽しく活動できたことは記憶に残り、成果につながっていると思う。楽なことをするという意味とは違うと思う。楽しく活動を行ってほしいと思う。全体的な教育目標とも一致していると思う。個別登校も、メリットがあると思うので、試行するのはよいと思う。挨拶運動とうまく兼ね合わせて試しに行うのもよいと思う。(袴田委員)

見守りというより、地域住民とのコミュニケーションが取れると思っている。災害のときの横のつながりが役に立つと思い、見守り制度を行っている。毎日どうしたらよいか考えたら、今のところ子供の見守りが一番ではないか、いつか役に立つと思い、見守りをやっている。(鈴木会長)

見守る立場からしてみれば、下校状況と同じになると思う。かなり危険だと思える。1年生が不安にならないようにしていかなければいけないと思う。(新村委員)

スクールガード(ボランティアさん)の意見も聞いてから決めていただきたい。(和田委員)

(2) 学校運営に必要な支援について

挨拶運動の充実。今年度は回数を6、10、11、2月増やしていきたいと思う。

地域の方のどのような関わりができそうか、という案を出していただけるとありがたい。

挨拶運動の充実、今まで通りのやり方でよいと思う。保護者の参加が少ないと思っており、PTAの呼び掛けが必要だと思う。(和田委員)

挨拶運動(見守り)は登下校関係なくお願いしたい。(校長)

働いている方が多いので難しいと思う。(和田委員)

保護者の参加が少ないと思っているが、登下校時に家にいない保護者が多いのが現状だと思う。PTAについて知っていただきたいと思っているので、やり方を考えていきたいと思う。(袴田委員)

旗振りに関して地域活動と回答したが、納得していただけなかった。地域の皆に協力していただいているので旗振り、見守りも保護者として呼びかけていきたいと思う。(袴田委員)

見守り制度と言葉を変えて、受け方を変えるのはどうでしょうか。(鈴木会長)

さくら連絡網で連絡することは可能か。HPだと保護者が見に行かないといけないので難しいと思う。(新村委員)

学校だよりで報告していき、浸透していけばよいと思う。(校長)

さくら連絡網の方が直で届くので保護者にも分かりやすく、必ず目を通すと思う。(新村委員)

子供たちが挨拶を返さないから嫌だ、ということを知る。子供たちの恥ずかしさがあるのかもしれないか、何回か行っているのに挨拶を返してくれない。先頭の子が言わないと後ろの子は全くしない傾向がある。個別登校になると全くしないのではないかと思う。子供のときは強制くらいでも挨拶させた方がよいと思う。(黒田学校支援コーディネーター)

子供たちも挨拶をやらなくてはいけないと思っているけれどできない。半年たってやっと挨拶してくれるようになった子もいる。「挨拶週間」は日数を増やしてよいか。小さな意見でもいただきたいと思う。(校長)

職場でも挨拶しても返さないことがある。子供のころからしつけの分野だと思っている。挨拶ができて損することはないと思う。保護者が「挨拶しなさい。」と言って聞かせてあげることが責任だと思う。自治体の方にも参加していただきたいと思っている。(袴田委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

意見に基づいて経費を活用していく。資料にて説明があった。(教頭)

同意をいただいたので、意見書を出していきたいと思う。

報告

- (1) 今年度のCS活動の計画
- (2) ボランティアの依頼方法

新村委員より資料にて説明があった。ほぼ昨年と同じ。ボランティアの依頼方法は昨年度と同じ。用紙から電子機器に移行。

謝礼

講師として依頼を受けていただいた方に謝礼をお渡しする。

自己評価

今年度も評価項目でやっていこうと思っている。今年度の評価につながり来年度につなげていきたいと思う。

第2回学校運営協議会予告

9月24日（火）13：30～15：30 家庭科室
始めに授業を見てもらい、その後会議となる。